

(別紙1)

事業の実施内容及び成果に関する報告書

1 事業名

2023年度五輪・パラリンピック開催に向けた自転車競技の競技力向上に資する事業
五輪関連種目の世界選手権大会派遣並びにこれに資する事業

2 事業の実施経過

(1) 事務手続関係

2023年 4月 7日 交付決定通知書受理(4月1日付)
5月22日 交付誓約書提出
10月30日 状況に関する報告書提出
12月28日 分割払申請書提出(1回目)
2024年 8月 1日 分割払補助金受領(26,827,821円)
8月 6日 分割払申請書提出(最終回)
2025年 4月24日 補助金受領(53,032,559円)

(2) 事業関係

<トラック>

2023/4/20-4/23 2023UCI TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP #3 (カタール ミルトン)
2023/6/14-6/19 ASIAN TRACK CHAMPIONSHIPS&ASIAN PARA TRACK CHAMPIONSHIPS2023
(マレーシア ニライ)
2023/8/3-8/9 2023 UCI 世界選手権 (イギリス グラスゴウ)
2023/9/26-9/29 第19回アジア競技大会 (中国 杭州)
2024/2/2-2/4 2024 TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP (オーストラリア アデレード)
2024/2/21-2/26 ASIAN TRACK CHAMPIONSHIPS & ASIAN PARA TRACK CHAMPIONSHIPS 2024
(インド)
2024/3/15-3/17 2024 TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP (香港)
2024/4/12-4/14 2024 TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP (カタール ミルトン)

<MTB>

2023/9/25 第19回アジア競技大会 (中国 杭州)
2023/10/26-10/29 2023UCI マウンテンバイク アジア選手権大会 (インド トリバンナム)

(別紙1)

<BMX>

2023/7/13-7/16 2023年アジアBMX選手権大会 (フィリピン マニラ)

BMXフリースタイル パーク、フラットランド、レーシング

2023/8/2-8/9 2023 UCI 世界選手権 (イギリス グラスゴー)

BMXフリースタイル パーク、フラットランド

2023/9/25 第19回アジア競技大会 (中国 杭州) BMXレーシング

2023/10/7-10/14 ワールドカップ第7戦～10戦 (アルゼンチン) BMXレーシング

2024/2/24-2/25 ワールドカップ第3戦～4戦 (オーストラリア) BMXレーシング

<シクロクロス>

2024/2/1-2/5 2024 UCI シクロクロス 世界選手権大会 (チェコ ターボール) 世界選手権

<トライアル>

2023/8/7-8/12 2023 UCI 世界選手権 (イギリス グラスゴー)

<ジャパントラックカップ I & II >

2023/11/16-11/18 2023 Japan Track Cup I /II (CL1) 伊豆ベロドローム

3 実施内容及び成果

(1) 実施内容 <具体的に記入してください>

<トラック>

(1) 2023InternationalTrack Meeting Belgium (カナダ ミルトン)

令和5年4月20日(木)～4月23日(日) 派遣選手団15名 (スタッフ6名、選手9名)

●男子エリミネーション 6位 橋本英也 20位 今村駿介

●男子オムニアム 5位 窪木一茂 9位 児島直樹

●男子マディソン

5位 日本 (窪木一茂・今村駿介)

6位 チームブリヂストンサイクリング (橋本英也・児島直樹)

●男子チームパシュート

9位 日本 (橋本英也・児島直樹・窪木一茂・今村駿介)

●女子エリミネーション 13位 内野艶和 24位 池田瑞紀

●女子オムニアム 16位 梶原悠未 (TEAM Yumi) 22位 垣田真穂

●女子マディソン

(別紙1)

8位 チーム楽天Kドリームス (垣田真穂・内野艶和)

落車棄権 (DNF) 日本 (梶原悠未・池田瑞紀)

●女子チームパシュート

9位 日本 (梶原悠未・垣田真穂・内野艶和・池田瑞紀)

(2)UCI ASIAN TRACK CHAMPIONSHIPS & ASIAN PARA TRACK CHAMPIONSHIPS 2023

(マレーシア) 令和5年6月14日 (水) ~6月19日 (月)

派遣選手団42名 (スタッフ16名、選手26名)

●男子スプリント 2位 太田海也 3位 山崎賢人 4位 寺崎浩平

●男子ケイリン 2位 中野慎詞 4位 寺崎浩平 5位 太田海也

●男子チームスプリント

1位 日本 (太田海也・小原佑太・長迫吉拓)

●男子エリミネーション 1位 橋本英也

●男子オムニアム 1位 橋本英也

●男子マディソン 1位 日本 (窪木一茂・今村駿介)

●男子チームパシュート 1位 日本 (橋本英也・兒島直樹・今村駿介・窪木一茂)

3分51秒055 ※日本新記録&アジア新記録

●男子個人パシュート 1位 窪木一茂 2位 松田祥位

●男子ポイントレース 1位 兒島直樹

●男子スクラッチ 2位 今村駿介

●女子スプリント 1位 太田りゆ 2位 佐藤水菜 3位 梅川風子

●女子ケイリン 1位 佐藤水菜 2位 梅川風子 3位 太田りゆ

●女子500mTT 3位 酒井亜樹

●女子チームスプリント 2位 日本 (酒井亜樹・太田りゆ・佐藤水菜)

●女子エリミネーション 1位 内野艶和

●女子オムニアム 1位 梶原悠未

●女子マディソン 1位 日本 (梶原悠未・内野艶和)

●女子チームパシュート 1位 日本 (梶原悠未・池田瑞紀・垣田真穂・内野艶和)

●女子個人パシュート 3位 垣田真穂

●女子ポイントレース 3位 池田瑞紀

(別紙1)

●女子スクラッチ 1位 梶原悠未



(3) 2023 UCI 世界選手権 (イギリス グラスゴー)

令和5年8月3日(木)～8月9日(水) 派遣選手団29名(スタッフ10名、選手19名)

- 男子チームスプリント 6位 日本(長迫吉拓・太田海也・小原佑太)
- 男子スプリント 6位 太田海也 14位 寺崎浩平
- 男子ケイリン 3位 中野慎詞 8位 太田海也
- 男子エリミネーション 13位 橋本英也
- 男子オムニアム 3位 今村駿介
- 男子マディソン 12位 日本(今村駿介・窪木一茂)
- 男子チームパシュート 8位 日本(橋本英也・窪木一茂・兒島直樹・松田祥位)
- 個人パシュート 15位 窪木一茂 22位 松田祥位
- 男子ポイントレース 7位 兒島直樹
- 男子スクラッチ 2位 窪木一茂
- 女子エリミネーション 13位 垣田真穂

(別紙1)

- 女子オムニアム 8位 梶原悠未
- 女子マディソン 8位 日本（梶原悠未・内野艶和）
- 女子チームパシュート 11位 日本（梶原悠未・垣田真穂・内野艶和・池田瑞紀）
- 女子個人パシュート 22位 古山稀絵
- 女子ポイントレース 3位 内野艶和
- 女子スクラッチ 6位 内野艶和



(4)第19回アジア競技大会（中国 杭州）

令和5年9月26日（火）～9月29日（金）派遣選手団23名（スタッフ8名、選手15名）

- 男子チームスプリント 1位 日本（長迫吉拓・太田海也・小原佑太）
- 男子スプリント 1位 太田海也 6位 中野慎詞
- 男子ケイリン 4位 中野慎詞 7位 太田海也
- 男子チームパシュート 1位 日本（松田祥位・窪木一茂・橋本英也・兒島直樹）
- 男子オムニアム 1位 窪木一茂

(別紙1)

- 男子マディソン 1位 日本（児島直樹・今村駿介）
- 女子スプリント 1位 佐藤水菜 3位 太田リゆ
- 女子ケイリン 1位 佐藤水菜 6位 太田リゆ
- 女子オムニアム 1位 梶原悠未
- 女子マディソン 1位 日本（内野艶和・垣田真穂）
- 女子チームパシュート 1位 日本（梶原悠未・池田瑞紀・内野艶和・垣田真穂）



(5) 2024 TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP (オーストラリア アデレード)

令和6年2月4日（日）～2月6日（火）派遣選手団29名（スタッフ11名、選手18名）

- 男子チームスプリント 2位 日本（長迫吉拓・太田海也・小原佑太）
- 男子スプリント 1位 太田海也 7位 小原佑太 19位 中野慎詞
22位 山崎賢人
- 男子ケイリン 2位 中野慎詞 3位 太田海也 8位 山崎賢人
13位 小原佑太
- 男子チームパシュート 5位 日本（窪木一茂・橋本英也・児島直樹・松田祥位）

(別紙1)

- 男子オムニアム 5位 窪木一茂 10位 今村駿介
- 男子マディソン 5位 日本（児島直樹・窪木一茂）
6位 チームブリヂストンサイクリング（橋本英也・今村駿介）
- 女子スプリント 2位 佐藤水菜 16位 梅川風子 17位 太田りゆ
- 女子ケイリン 1位 佐藤水菜 18位 太田りゆ 19位 梅川風子
- 女子オムニアム 7位 梶原悠未 11位 内野艶和
- 女子マディソン 9位 日本（池田瑞紀・垣田真穂）
- 女子エリミネーション 17位 水谷彩奈
- 女子チームパシュート 9位 日本（池田瑞紀・梶原悠未・内野艶和・垣田真穂）



(6) UCI ASIAN TRACK CHAMPIONSHIPS & ASIAN PARA TRACK CHAMPIONSHIPS 2024 (インド*)

令和6年2月21日(水)～2月26日(月)派遣選手団32名(スタッフ14名、選手18名)

- 男子チームスプリント 1位 日本(小原佑太・山崎賢人・中石湊)
- 男子スプリント 1位 小原佑太 5位 山崎賢人
- 男子ケイリン 1位 山崎賢人 7位 小原佑太
- 男子1kmTT 2位 中石湊
- 男子チームパシュート 1位 日本(窪木一茂・兒島直樹・松田祥位・橋本英也)
- 男子個人パシュート 1位 松田祥位
- 男子オムニアム 1位 橋本英也
- 男子マディソン 1位 日本(今村駿介・窪木一茂)
- 男子ポイントレース 1位 兒島直樹
- 男子スクラッチ 2位 今村駿介
- 男子エリミネーション 1位 今村駿介
- 女子スプリント 4位 酒井亜樹 14位 水谷彩奈
- 女子ケイリン 8位 酒井亜樹 11位 水谷彩奈
- 女子500mTT 5位 酒井亜樹
- 女子チームパシュート 1位 日本(内野艶和・垣田真穂・池田瑞紀・梶原悠未)
- 女子個人パシュート 1位 垣田真穂
- 女子オムニアム 1位 梶原悠未
- 女子マディソン 1位 日本(内野艶和・垣田真穂)
- 女子ポイントレース 1位 内野艶和
- 女子スクラッチ 3位 池田瑞紀
- 女子エリミネーション 1位 梶原悠未
- 男子ジュニアスプリント 2位 高橋奏多 6位 丸山留依
- 男子ジュニアケイリン 4位 丸山留依 6位 高橋 奏多
- 男子ジュニア1kmTT 6位 丸山留依
- 男子ジュニア個人パシュート 1位 三浦一真
- 男子ジュニアオムニアム 3位 木綿峻介
- 男子ジュニアマディソン 1位 日本(三浦一真・木綿峻介)

(別紙1)

- 男子ジュニアポイントレース 2位 木綿峻介
- 男子ジュニアスクラッチ 6位 三浦一真
- 男子ジュニアエリミネーション 2位 三浦一真



(7) 令和6年3月15日(金)～3月17日(日)(香港)

2024 TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP (2024/香港) 派遣選手団30名(スタッフ11名、選手19名)

- 男子チームスプリント 2位 日本(長迫吉拓・小原佑太・太田海也)
- 男子スプリント 1位 太田海也 8位 中野慎詞 12位 小原佑太
21位 山崎賢人
- 男子ケイリン 1位 太田海也 9位 山崎賢人 13位 中野慎詞
15位 小原佑太

(別紙1)

- 男子チームパシュート 2位 日本（児島直樹・橋本英也・窪木一茂・松田祥位）
- 男子オムニアム 3位 児島直樹 8位 橋本英也（
- 男子マディソン 3位 日本（橋本英也・窪木一茂）
12位 チームブリヂストンサイクリング（今村駿介・児島直樹）
- 男子エリミネーション 4位 今村駿介 20位 窪木一茂
- 女子スプリント 7位 佐藤水菜 17位 太田りゆ 20位 梅川風子
29位 酒井亜樹
- 女子ケイリン 5位 佐藤水菜 9位 太田りゆ 13位タイ 梅川風子
19位タイ 酒井亜樹
- 女子チームパシュート 3位 日本（池田瑞紀・梶原悠未・垣田真穂・内野艶和）
- 女子オムニアム 1位 梶原悠未 2位 内野艶和
- 女子マディソン 1位 チーム楽天Kドリームス（垣田真穂・内野艶和）
12位 日本（池田瑞紀・岡本美咲）
- 女子エリミネーション 1位 梶原悠未 20位 内野艶和



(別紙1)

(7) 2024 TISSOT UCI TRACK NATIONS CUP (カナダ ミルトン)

令和6年4月12日(金)～4月14日(日)

派遣選手団15名(スタッフ7名、選手8名)

- 男子チームパシュート 4位 日本(今村駿介・橋本英也・児島直樹・窪木一茂)
- 男子エリミネーション 2位 今村駿介 7位 橋本英也
- 男子オムニアム 2位 窪木一茂 13位 橋本英也
- 男子マディソン 6位 日本(今村駿介・窪木一茂)
10位 チームブリヂストンサイクリング(橋本英也・児島直樹)
- 女子チームパシュート 8位 日本(池田瑞紀・垣田真穂・水谷彩奈・内野艶和)
- 女子エリミネーション 15位 垣田真穂 20位 水谷彩奈
- 女子オムニアム 10位 内野艶和 13位 池田瑞紀
- 女子マディソン 5位 チーム楽天Kドリームス(垣田真穂・内野艶和)
12位 日本(池田瑞紀・水谷彩奈)



(別紙1)

<MTB>

第19回アジア競技大会（中国 杭州）

令和5年9月20日（月）～10月6日（水）

派遣選手団（マウンテンバイク）3名（スタッフ1名、選手2名）

●男子エリート 3位 沢田時

●女子エリート DNF 小林あかり



アジア選手権大会（インド トリバンダム）

令和5年10月23日（月）～ 10月30日（月）派遣選手団16名（スタッフ5名、選手11名）

クロスカンントリー

●チームリレー 2位 日本（沢田、北林、川口、副島、高橋）

●男子エリート

5位 北林力 8位 沢田時 12位 宮津旭 14位 平林安里

●女子エリート 6位 小林あかり 7位 川口うらら

(別紙1)

- 男子U23 1位 副島達海
- 女子U23 DNS 石田唯
- 男子ジュニア 1位 高橋翔 3位 嶋崎亮我
- 女子ジュニア 1位 日吉愛華



<BMX>

2023年アジアBMX選手権大会 BMXフリースタイル・パーク、フラットランド、レーシング（フィリピン タグ・タイ）

令和5年7月10日（火）～7月17日（月）派遣選手団32名（スタッフ10名、選手22名）

フリースタイル パーク

- 男子エリート 1位 中村輪夢 2位 溝垣丈司
- 女子エリート 3位 内藤寧々

フリースタイル フラットランド

- 男子エリート 1位 佐々木元 2位 伊藤 真人

(別紙1)

●女子エリート 1位 川口朔来 2位 中川きらら



＜アジアBMX選手権 フリースタイル パーク＞

レーシング

- 男子エリート 4位 増田優一 5位 中井飛馬 6位 中林凌大 14位 島田遼
- 女子エリート 1位 畠山紗英 3位 丹野夏波 4位 藪田寿衣 10位 野村凧沙
- 男子U23 2位 庄司佳真
- 女子U23 1位 西村寧々花
- 男子ジュニア 1位 木内彪凱 3位 坂本優和

2023 UCI 世界選手権 BMXフリースタイル パーク、フラットランド（イギリス グラスゴー）

令和5年8月1日（火）～8月13日（日）派遣選手団15名（スタッフ4名、選手11名）

フリースタイル パーク

- 男子エリート 1位 中村輪夢 2位 溝垣丈司
- 女子エリート 3位 内藤寧々

フリースタイル フラットランド

(別紙1)

●男子エリート 1位 佐々木元 2位 伊藤 真人



第19回アジア競技大会（中国 杭州）令和5年9月20日（月）～10月6日（水）

派遣選手団BMXレーシング（スタッフ5名、選手2名）

●男子エリート 1位 中井飛馬



(別紙1)

ワールドカップ第7-10戦（アルゼンチン）BMXレーシング

令和5年10月1日（日）～10月18日（水）派遣選手団11名（スタッフ4名、選手7名）

第7戦

- 男子エリート 39位 中井飛馬 67位 島田遼
- 女子エリート 26位 丹野夏波
- 男子U23 7位 増田優一
- 女子U23 11位 簀田寿衣

第8戦

- 男子エリート 35位 中井飛馬 67位 島田遼
- 女子エリート 33位 丹野夏波
- 男子U23 21位 増田優一
- 女子U23 20位 簀田寿衣

第9戦

- 男子エリート 36位 中井飛馬 63位 島田遼
- 女子エリート 23位 丹野夏波
- 男子U23 24位 増田優一
- 女子U23 17位 簀田寿衣

第10戦

- 男子エリート 53位 中井飛馬 61位 島田遼
- 女子エリート 22位 丹野夏波
- 男子U23 18位 増田優一
- 女子U23 11位 簀田寿衣

ワールドカップ第3-4戦（オーストラリア）BMXレーシング

令和6年2月12日（月）～2月26日（月）派遣選手団9名（スタッフ4名、選手5名）

第3戦

- 男子エリート 46位 島田遼 72位 増田優一
- 女子エリート 23位 丹野夏波
- 男子U23 60位 北川晃久
- 女子U23 7位 簀田寿衣

(別紙1)

第4戦

- 男子エリート 64位 島田遼
- 女子エリート 19位 丹野夏波 25位 畠山紗英
- 男子U23 46位 北川晃久
- 女子U23 13位 藪田寿衣



(別紙1)

<シクロクロス>

2024 UCI シクロクロス 世界選手権大会 (チェコ ターボル)

令和6年1月25日(木) ~ 2月7日(水) 派遣選手団13名 (スタッフ6名、選手7名)

- 男子エリート 44位 沢田時
- 男子U23 42位 鈴木来人 52位 柚木伸元
- 女子U23 26位 渡部春雅
- 男子ジュニア 48位 成田光志 57位 野寄然新
- 女子ジュニア 37位 日吉愛華



<トライアル>

2023 UCI 世界選手権 (イギリス グラスゴー)

令和5年8月9日(水) ~ 12日(土) 派遣選手団 8名 (スタッフ4名、選手4名)

- チームコンペ (国別対抗戦) 8位 日本
- 男子ジュニア26インチ 4位 濱野伊吹
- 男子ジュニア20インチ 6位 横田宏太郎

(別紙1)

- 男子エリート20インチ 9位 土屋凌我
- 女子エリートオープン 13位 市川琉那



(別紙1)

<ジャパントラックカップ I & II>

2023 Japan Track Cup I /II (CL1)

開催日：令和5年11月16日～18日 静岡県伊豆市（伊豆ベロドローム）

参加国数：8か国（日本を含む）、参加チーム数：海外 10チーム、国内 9チーム

参加者数：67名（男子 41名、女子26名）

実施種目：ケイリン、スプリント、オムニアム、マディソン

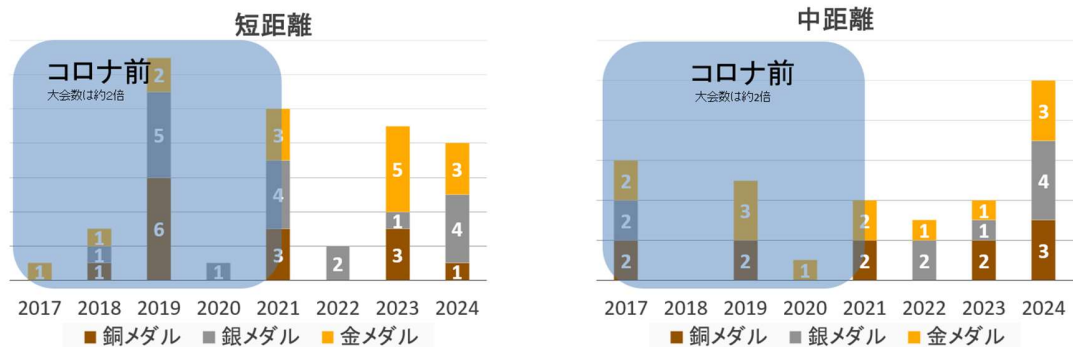


(別紙1)

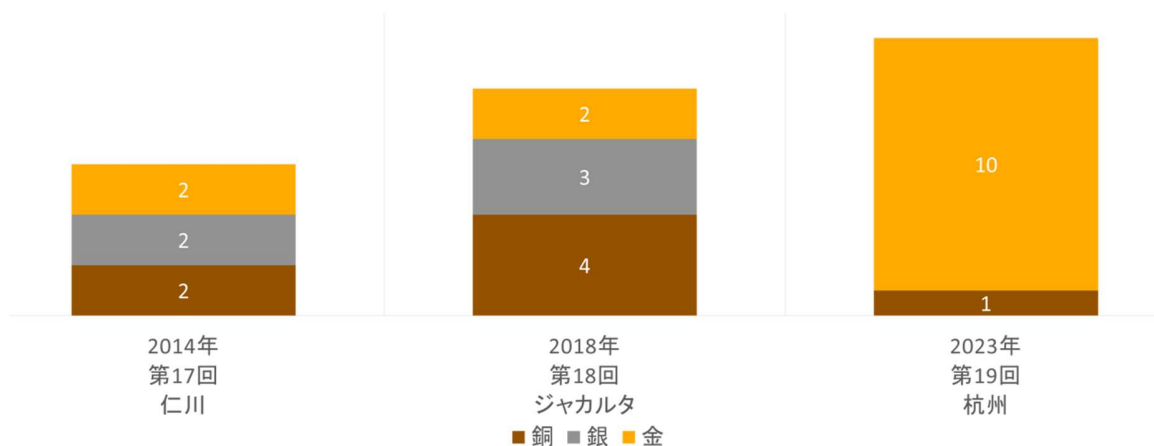
(2) 本事業の成果

ネーションズカップ&世界選手権 獲得したメダル個数推移

※会計年度ではなく、各年1ー12月に獲得したメダル個数
※2024は4月までに開催されたネーションズカップ3大会結果のみ



参考:アジア大会でのメダル(金、銀、銅)獲得推移



(表はいずれもトラック競技)

2023 年度はパリオリンピックへの出場を確定するためのポイント獲得のため、非常に重要な年度であり、本事業の助成によって該当大会への派遣を存分に行うことができた。

トラック競技では、史上最高数のオリンピック出場枠を獲得することができ、(短距離 5 枠、中距離 8 枠 ※東京オリンピック時には短距離 3 枠、中距離 3 枠)、補助事業が無ければ、重要な

(別紙1)

大会への全枠数獲得に向けた派遣が難しかったため、心より感謝しております。

競技種目に関わらず自転車競技全体として、主要国際大会に出場するだけでなく、多くのメダルの獲得やメダルに届かなくとも入賞、また、個人最高順位を獲得するなど、高いレベルで競うことでオリンピックにおけるメダル獲得に向けての良いシミュレーションができたといえる。

また、アジア競技大会はパリオリンピック出場のためのポイントは獲得できない大会ではあったが、特にトラック競技では参加種目すべてでメダルを獲得し、日本選手団が獲得した総合メダル数の4分の1程度を獲得したことより、TV各局や新聞、ウェブ記事等の露出も多くあり、パリオリンピックに向けての自転車競技認知向上にもつながった。

<第19回アジア競技大会>

【TV中継】10月1日(日) [U-NEXT/TVer配信] 自転車BMXレーシング

TBS特設サイト

<動画>

【男子BMXレーシング 決勝】中井飛馬がアジア制覇！【アジア大会 中国・杭州】ハイライト
2023. 10. 2更新 <https://www.tbs.co.jp/asiangames/video/>

<ニュース記事>

TBS NEWS DIG Powered by JNN

検索

ニュース 深掘りDIG 戦後80年 LIVE・動画 配信中 天気防災 地域

新着 国内 国際 コロナ 経済 暮らし・マネー 話題・グルメ エンタメ スポーツ 天気 地震・災害 ドキュメンタリー

アジア大会中国・杭州

【アジア大会】大会5日目の日本は自転車など金メダル3個を含む、12のメダルを獲得！合計78個は中国、韓国に続く3位



TBS TBSテレビ
スポーツ

2023年9月29日(金) 06:00

天気予報

今日の天気 東京都港区 最高



もっと

LIVE・動画



(別紙1)

■アジア大会中国 杭州（28日、大会5日目）

大会5日目、日本は金メダル3個、銀メダル3個、銅メダル6個を獲得。メダルの総数を78に増やした。

自転車トラック競技は内野艶和（21、チーム楽天Kドリームス）、垣田真穂（18、私立松山学院高校）の女子マディソンをはじめ、男子スプリントの太田海也（24、競輪選手会 岡山支部）、男子オムニウムの窪木一茂（34、チームブリヂストンサイクリング）でこの日3つの金メダルを獲得。今大会、これでトラック競技は7個の金メダルとなった。

TBS NEWS DIG Powered by JNN

ニュース

深掘りDIG 戦後80年

LIVE・動画 配信

天気防災

地域

新着

国内

国際

コロナ

経済

暮らし・マネー

話題・グルメ

エンタメ

スポーツ

天気

地震・災害

ドキュメンタリー

アジア大会中国・杭州

自転車3種目で日本が金メダルを独占！男子オムニウムで窪木一茂が日本勢3大会連続の頂点に【アジア大会】



写真：新華社/アフロ

TBS TBSテレビ

スポーツ

2023年9月28日(木) 20:34

天気予報

今日の天気
東京都港区

最高



もっと>

LIVE・動画



トランプ氏「週末」と電話会談
万博工事費用の未払い訴え
ハマス 米国籍の人員解放
日産 追加で1万人削減へ
路上でぶつかり…男性襲刺され

■第19回アジア競技大会中国 杭州（日本時間28日、淳安界首スポーツセンター自転車競技場）

自転車では連日の金メダルラッシュ。女子マディソン決勝に挑んだ日本の内野艶和（21、チーム楽天Kドリームス）と垣田真穂（18、私立松山学院高校）が団体パシュートにつづき、金メダルを獲得。

さらに男子スプリントで太田海也（24、競輪選手会 岡山支部）が日本勢2大会ぶりの頂点に。男子オムニウムでは男子団体パシュート金メダリストの窪木一茂（34、チームブリヂストンサ

(23/26)

(別紙1)

イクリング) が日本勢3大会連続となる金メダルを獲得した。

この日、行われた自転車の決勝種目を日本が独占した形となった。

※写真は窪木選手

TBS NEWS DIG Powered by JNN

検索

ニュース

深掘りDIG 戦後80年

LIVE・動画 配信中

天気防災

地域

新着 国内 国際 コロナ 経済 暮らし・マネー 話題・グルメ エンタメ スポーツ 天気 地震・災害 ドキュメンタリー

アジア大会中国・杭州

自転車で金メダルラッシュ！女子ケイリンで佐藤が日本勢初優勝、チームパシュートは男女アベックV【アジア大会】

写真：時事

TBS TBSテレビ

スポーツ

2023年9月27日(水) 19:50

天気予報

今日の天気 東京都港区 最高



もっと

LIVE・動画



■第19回アジア競技大会中国 杭州（日本時間27日、淳安界首スポーツセンター自転車競技場）自転車競技で日本勢が金メダルラッシュ。前日の男子チームスプリントに続き、男女のチームパシュート、女子ケイリンで佐藤水菜（24、競輪選手会 神奈川支部）がアジアの頂点に輝いた。佐藤はこの種目で日本勢初の金メダル。

女子チームパシュート決勝、日本は梶原悠未（26、筑波大学大学院）、池田瑞紀（19、私立祐誠高）、内野艶和（21、チーム楽天Kドリームス）、垣田真穂（18、私立松山学院高）のメンバーで挑み、中国に僅差で優勝を果たした。前回18年のジャカルタ大会で日本は銅メダルだったが、今回初の頂点に。

男子チームパシュート決勝も相手は中国。日本は松田祥位（24、チームブリヂストンサイクリング）、窪木一茂（34、チームブリヂストンサイクリング）、橋本英也（29、チームブリヂストンサイクリング）、兒島直樹（22、チームブリヂストンサイクリング）で挑み、90年の北京大会

(別紙1)

以来、33年ぶりの金メダルとなった。

女子ケイリン決勝では21年、22年の世界選手権銀メダリストの佐藤が日本勢初制覇。ラスト1周手前で先頭に出ると、そのまま中国勢を振り切りフィニッシュした。

※写真は佐藤水菜選手

TBS NEWS DIG Powered by JNN

検索

ニュース 深掘りDIG 戦後80年 LIVE・動画 配信中 天気防災 地域

新着 国内 国際 コロナ 経済 暮らし・マネー 話題・グルメ エンタメ スポーツ 天気 地震・災害 ドキュメンタリー

アジア大会中国・杭州

自転車 男子チームスプリント4大会ぶり金 中国に逆転の3走・小原「今夜は金メダルを抱きしめ寝ます」【アジア大会】



TBS TBSテレビ スポーツ 2023年9月26日(火) 22:38

天気予報

今日の天気 東京都港区 最高



もっと

LIVE・動画



千葉・船橋市の路上で男性切りつけ 面識のない男に因縁つけられ感

■第19回アジア競技大会中国 杭州（日本時間26日、淳安界首スポーツセンター自転車競技場）男子チームスプリント（1-2位決定戦）が行われ、日本は長迫吉拓（30、Dream Seeker Racing Team）、太田海也（24、競輪選手会 岡山支部）、小原佑太（27、競輪選手会 青森支部）で挑み、2006年ドーハ大会以来となる金メダルを獲得した。

予選を中国に次ぐ2位で通過した日本は1走、2走で中国にリードを許すも、3走の小原が逆転し優勝。日本記録には及ばなかったが42秒934の大会記録で4大会ぶりの優勝を果たした。

3選手は日本自転車競技連盟を通じてコメントを寄せた。

小原「アジア大会は、初出場初優勝で嬉しいです。ネイションズカップや世界選手権とは違う緊張がある戦いで楽しかったです。予選は中野選手で1回戦からの出場でしたが、むしろ普段より楽に走れた印象です。今夜は金メダルを抱きしめ寝ます」

(別紙1)

太田「今回は、予選から3本走りました。予選で中国に僅差で負けましたが、1-2位決定戦では最後の最後で逆転できて、凄く良かったと思います。とても良い環境で準備ができて、今までにないようなプレッシャーも感じながら、1戦1戦しっかり戦えたと思います。チームスプリントで勝てましたので、この後のスプリント、ケイリンにも弾みになったと思います」

長迫「まず、率直に言って今日金メダルが獲れて嬉しいです。今日は、予選から各チームが強くて、特に中国が強くて、予選も1回戦もタイムで負けてしまいましたが、最後に優勝することができて嬉しいです。毎日の練習環境のクオリティの高さが、この金メダルに繋がったと思います」

予選で3走の中野慎詞（24、競輪選手会 岩手支部）「今回の初めてチームスプリントに参加しましたが、今回の優勝はいつも走っている本メンバーのお陰で優勝できましたので、みんなに感謝したいと思います。自分も小原選手のような走りをしなければ、このチームに加わることはできないと思いますし、小原選手と同じパフォーマンスを出せるように、技術や力を身に付ける必要があると感じました。チームスプリントで良い流れができたので、個人種目でも頑張ります」